

登録コード	HM135900	開講年度	2026				
授業題目	代謝制御学論文演習				担当教員	田中 直樹 他	
英文授業名	Thesis Seminar in for Metabolic Regulation				副担当	中寫 岳郎	
単位数	2	講義期間	通年	曜日・時限	集中・不定期	対象学生	
講義室			授業形態	演習	備考		
信大コンピテンシー	非該当						
(1)授業の達成目標/Course objectives	ディプロマポリシー・授業で得られる「学位授与の方針」要素 ⇄				(授業の達成目標)		
	2026HM医学分野初, 2025HM医学分野初, 2024HM医学分野初, 2023HM医学分野初						
	【研究科共通_2024年度以前カリキュラム対象】専門分野以外の課題を見渡し自身の研究課題の社会的意義を再認識する俯瞰力 ⇄				・肥満や糖尿病、消化器病、様々な慢性疾患の病態解析を通して、自身の研究分野に応用できる力を養う。		
	【研究科共通_2024年度以前カリキュラム対象】高度専門職業人・研究者として、科学・技術を発展させるための健全な倫理観 ⇄				・データの収集・統計解析・解釈の公平性、データの公共性や保存について、いつも注意を払う習慣を身に着ける。		
	【専攻】医学または保健学の研究に対する世界標準の専門分野における深い知識・卓越した技能 ⇄				・生活習慣病や様々な慢性疾患の病態解析に関する、世界最先端の知識を理解する。		
	【専攻】医学・保健学研究において基礎・応用・臨床の枠を越え、課題の本質を見抜き解決方法を見出す洞察力 ⇄				・生活習慣病や消化器病、様々な慢性疾患の病態解析を通して、自身の研究・臨床研究・実臨床に応用できる力を養う。		
	【専攻】医学・保健学研究の専門分野近傍の課題に対して新たな知見・技術を生み出す応用力 ⇄				・作業仮説の解決のためにどのようなアプローチ法があるか、自分で調べたり専門家にコンサルトする力を身に着ける。		
(2)詳細 /Detailed information	実験と並行して多くの論文を批判的見地から検証することにより、科学的思考の習得を目指す。						
(3)授業の概要 /Overview of course	科学的論文として社会に報告するために必要な研究デザイン、データの図示、正しい統計処理などを綿密に指導する。論文作成時には表現法、科学的論理展開を指導し、最終掲載までのプロセスも学んでもらうことにより、研究者として自立できるだけの科学的能力・胆力・倫理観を養う。						
(4)授業計画 /Course plan	(田中直樹) 核内受容体と代謝・疾患、生活習慣病と消化器疾患の病態解析を通して、論文作成を指導する。 (中寫岳郎) サルファタイド（スフィンゴ糖脂質）の病態生理的意義の研究を通して、論文作成を指導する。						
(5)成績評価の方法・基準 /Grading/evaluation method/evaluation criteria	全授業終了後のプレゼンテーションまたはレポートで理解度を確認する。以下の項目のうち、3項目までできていれば「水準にある(可)」、4項目までできていれば「やや上にある(良)」、5項目を満たしていれば「かなり上にある(優)」、教員を感心させるレベルにあれば「卓越している(秀)」と評価する。 評価項目 1. 研究の背景を説明できる 2. 研究の作業仮説が自分で適切に設定できる 3. 課題解決のために必要な方法を説明できる 4. 得られたデータをわかりやすく表示、説明できる 5. 次に解析すべきこと、今後の検討課題を自分で設定できる						
(6)履修上の注意・事前事後学習の内容・テキスト・教材・参考書/Notes/Prep and review work/Textbook(s)/Reference work(s)	毎回のDiscussionの最後に、次の回につながる課題を出す。その課題はそれまでの検討内容を使えば答えを出せるようになっており、それを考えることで今後の方針への理解が深まるので、毎回課題に取り組んでほしい。						
(7)質問,相談への対応/Questions and requests for advice	メールでコンタクトしてください。 naopi@shinshu-u.ac.jp (田中) , nakat@shinshu-u.ac.jp (中寫)						
(8)授業の形式 /Course format	Discussion 形式						